地震の前にあらわれる変わった形の雲の写真集

地震と雲







著者　白木妙子　　画像提供　ソラ仲間

ソラと星出版

―目次―

【はじめに】 2
【地震の前にあらわれた雲や虹や変わった現象】 3
【大きな地震の前にあらわれた雲】 4
釧路・十勝沖地震　２００３年９月２６日Ｍ８・０震度６弱 4
紀伊半島・東海道沖地震　２００４年９月５日Ｍ７・１震度５弱 6
新潟県中越地震　２００４年１０月２３日Ｍ６・８震度７ 7
福岡県西方沖地震　２００５年３月２０日Ｍ７・０震度６弱 9
宮城県沖地震　２００５年８月１６日Ｍ７・２震度６弱 11
【地震の前にあらわれた雲】２００１年～２００２年 13
２００３年 15
２００４年 19
２００５年 22
２００６年 27
付録（８年間に渡り知らされた情報ですが、簡単にまとめて付録としました）
【原子とニウの物語】（地震はなぜ起きるか？） 45
【変わった形の地震】 47
【地震の前の身体の変化】 48
【巨大地震と巨大津波】 48
【自然現象のソラの解釈】 49
【おわりに】 50

【はじめに】

２００３年9月に波のように立ち上がる変わった雲を見た時には、雲が地震と関係するとは思っていませんでした。地震の前に出たという明らかに変わった形の雲がインターネットで出回り、いろいろ調べるうちに地震雲というものがあることを知りました。そして以前に見た変わった雲の記憶が蘇りました。それは阪神大震災の前の年に、神戸近くで高速道路の渋滞に引っかかった時、目の前にまるで地上から立ち上がっているのではないかと思えるような、巨大な極太の縄のような雲を見たのです。その後２００４年１０月に札幌で何気なく空を見ると、真っ赤に燃える木のような雲が空の半分近くを占めていて、とても異常な感じがしてデジカメで写しましたが、しばらくして新潟地震が起きました。また２００５年3月に東京へ向かうフライト中、福島上空でグレーの巨大で滑らかな筒状の雲が飛行機と平行して浮かんでいているのに気付き、後日その雲の先端が九州の福岡に向かっていたのを気象衛星の画像で見ました。それが福岡県西方沖地震の前でした。その後、十勝沖、新潟、福岡沖、千葉沖など大きな地震が続き、読者の皆様からも画像を次々と送っていただき、それがたくさん集まったのでまとめてみました。すると、大きな地震ほど早くから変わった雲で知らせていることや、遠くても大きな地震が起きる前には知らせることも分かりました。残念ながら、変わった雲を見ても、どこでいつごろ地震が起きるかを知ることは出来ませんが、近々地震が起きるかもしれないと、あらかじめ心構えをすることが出来ると思います。

この写真集のもう一つの大切な目的は〝なぜ地震が起きるか？〟というある情報をお知らせするためです。それを皆様にお知らせするために、このようにたくさんの変わった雲を見せられたと思っています。なぜ地震が起きるかといっても、今の学説とは大きくかけ離れた情報ですので、厳しい反論をされることは仕方がないと思います。この情報がどのようにして知らされるかというと、意識を集中することで軽く舌が動いて、私の想像をはるかに超える内容の言葉となります。その言葉はソラの意識体からのもので、内容はこれまで聞いたこともないことばかりですが、８年間に渡って知らされている他の情報とも繋がって整合性があります。ソラの意識体から皆様にお知らせするように頼まれた私は情報を発信する役ですので、知らされたことをそのまま断定的に書いていることもあらかじめお断りします。

【地震の前にあらわれた雲や虹や変わった現象】

地震が起きる前に知らせる雲のひとつ〝断層雲〟は、スパッと切断したようになっているほど大きな地震になるようで、一見分厚い方が大きくなりそうですが、十勝沖地震の時などは薄い断層雲もありました。棒状の雲が扇子のように広がる〝放射状雲〟は、本数が多くてまっすぐなのが大きな震度の地震になるようです。〝縦雲〟は地上近くから上に伸びるように見える雲で、しっかりとした形で太いものや、大きな木のように枝分れしたものが大きな震度の地震になるようです。〝棒状雲〟も形が直線で滑らかと思える雲ほど大きな地震をあらわします。細かいウロコ雲が空全体に広がるのも何かを知らせているようです。半円の大きな〝虹〟は、地球を固めた原子たちが地球に降りてきた時は、それほど大きく半円のクラゲのようだったことを知らせています。けれども人間はその原子が思いを持っていることに気付かないので、その原子たちが「気付いて」と怒って縦向きの短い虹で警告を発します。横向の虹はやや大きな地震になるようです。阪神大震災や中越地震の前に月が変形して見えたという情報もあります。

このように、地震の前にはある程度共通した形の変わった雲などがあらわれていますが、それは「なぜ地震が起きるか?」という情報を、私たち人間に知らせるために形作られると思っています。

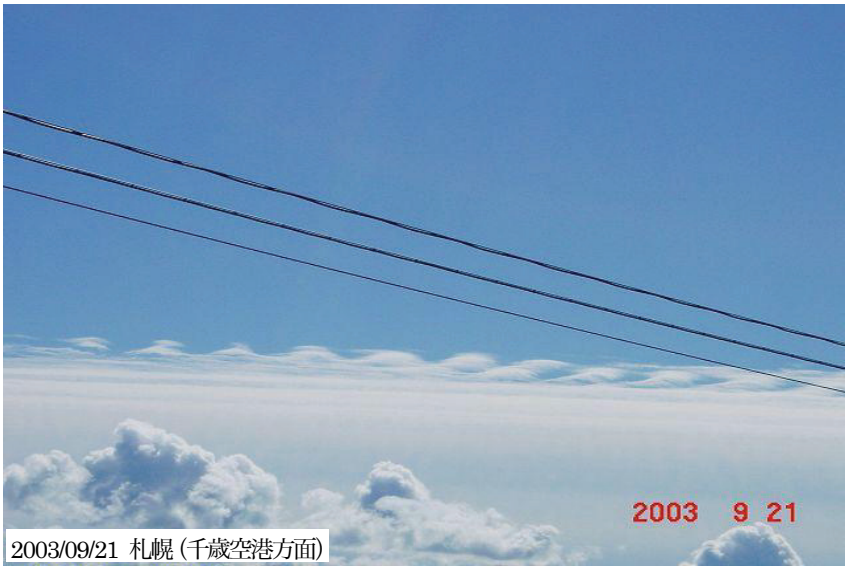
私は雲を形作る存在などから8年間に渡ってさまざまな分野の情報を知らされていますが、そのたくさんの情報のごく一部をまとめたのが『原子とニウの物語』です。物語は原子やニウたちは思いを持つということと、それらが地球のまわりや宇宙に充満しているという内容です。ニウとは「物質を構成する最も小さい素粒子であるニュートリノ」から名付けられました。また思いもよらないでしょうが、雲が意思を持ってその形を作るということを理解することが、巨石文明や人間の誕生、自然災害などの謎を解いていくことに繋がります。

【大きな地震の前にあらわれた雲】

【釧路沖・十勝沖地震】2003 年 09 月 26 日 M8.0 M7.1 震度 6 弱
2003 年 9 月 21 日、千歳空港へ向かう高速道路から見た雲は、青空に白くて薄い雲が断層状になっていました。そして、その雲が右端から小さな波のように立ち上がり、それが数十秒で、将棋倒しのように左に移動していきました。
その後は何もなかったようなわずかな凹凸の断層雲になり穏やかなお天気でしたが、その５日後に十勝沖地震（M8.0）が起きました。


2003/09/21 札幌


2003/09/21 帯広



2003/09/21 札幌（千歳空港方面）



2003/09/21 帯広

2003 年 09 月 26 日 釧路沖　深さ 45km M8.0 震度６弱
2003 年 09 月 26 日 十勝沖　深さ 21km M7.1 震度６弱
2003 年 09 月 26 日 釧路沖　深さ 27km M6.1 震度４
2003 年 09 月 27 日 釧路沖　深さ 34km M6.0 震度３
2003 年 09 月 29 日 釧路沖　深さ 43km M6.5 震度４

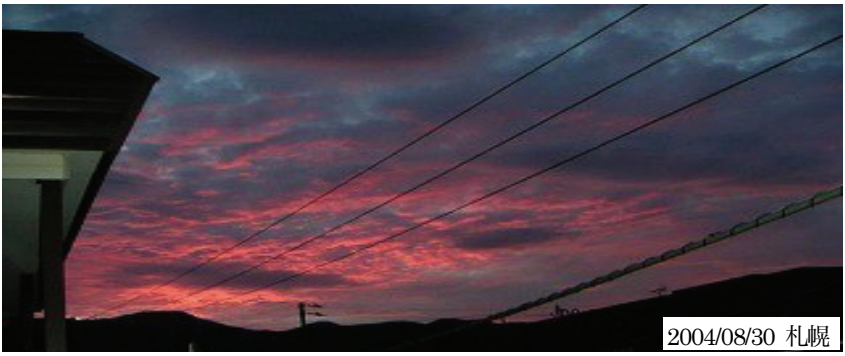
【紀伊半島沖・東海道沖地震】2004 年 09 月 05 日 M7.1 M7.4 震度 5 弱


2004/08/12 札幌


2004/08/14 空知


2004/09/04 札幌


2004/08/28 日高


2004/08/30 札幌

2004 年 09 月 05 日 紀伊半島沖　深さ 38km M7.1 震度 5 弱
2004 年 09 月 05 日 東海道沖　深さ 44km M7.4 震度 5 弱
2004 年 09 月 07 日 東海道沖　深さ 41km M6.5 震度 4
2004 年 09 月 08 日 東海道沖　深さ 36km M6.5 震度 3

【新潟県中越地方地震】2004 年 10 月 23 日 M6.8 震度 7



2004/10/02 札幌



2004/10/02 札幌



2004/10/02 札幌

【新潟県中越地方地震の続き】



2004/10/07 福岡



2004/10/14 札幌



2004/10/16 明石

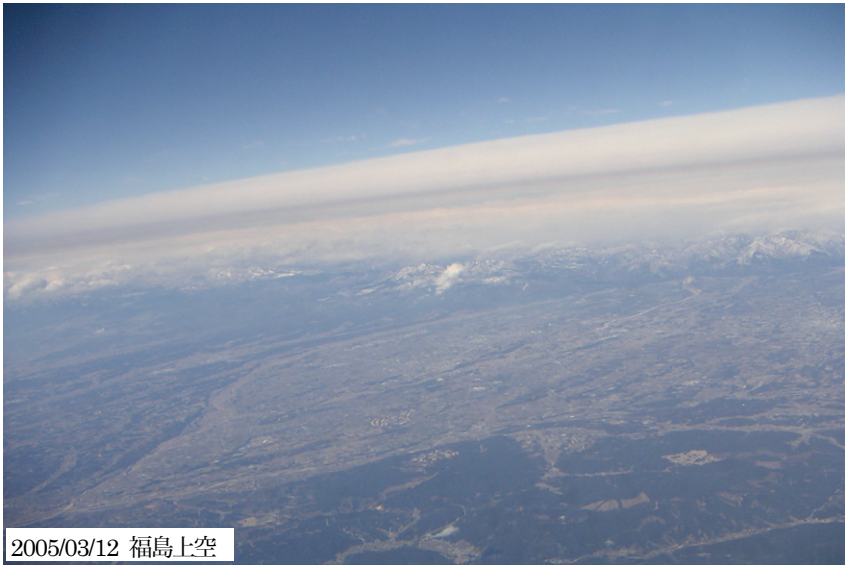
2004 年 10 月 23 日 新潟県中越地方　深さ 13km M6.8 震度 7
2004 年 10 月 23 日 新潟県中越地方　深さ 9km M6.3 震度 5 強
2004 年 10 月 23 日 新潟県中越地方　深さ 12km M6.0 震度 6 強
2004 年 10 月 23 日 新潟県中越地方　深さ 14km M6.5 震度 6 強
2004 年 10 月 23 日 新潟県中越地方　深さ 12km M5.7 震度 6 弱

【福岡県西方沖地震】2005 年 03 月 20 日 M7.0 震度 6 弱



2005/03/08 奈良

３月１２日千歳から羽田に向かう途中、棒状の雲が福島上空から一直線に西に向かっていましたが、後で確認すると気象台の画像では先端が福岡まで延びていました。



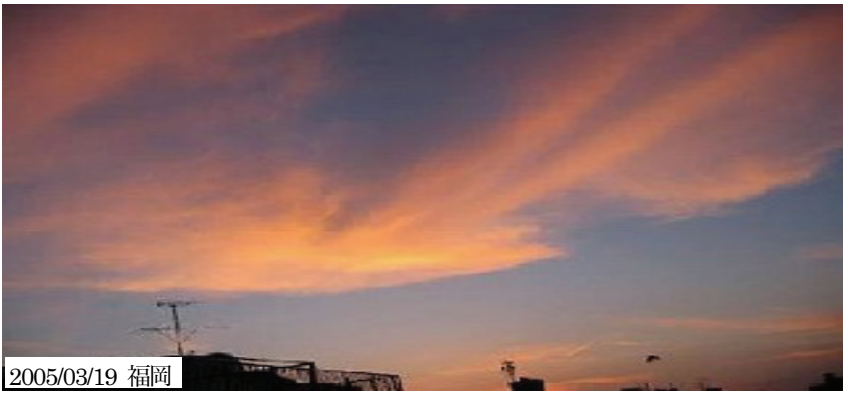
2005/03/12 福島上空

【福岡県西方沖地震の続き】


2005/03/12 福島上空


2005/03/13 静岡


2005/03/13 静岡


2005/03/19 福岡

2005 年 03 月 20 日 福岡県西方沖 深さ 9km M7.0 震度 6 弱
2005 年 03 月 22 日 福岡県西方沖 深さ 11km M5.4 震度 4
2005 年 03 月 29 日 インドネシア パンダアチェ 深さ 30km M8.5

【宮城県沖地震】2005 年 08 月 16 日 M7.2 震度 6 弱



2005/07/31 横浜



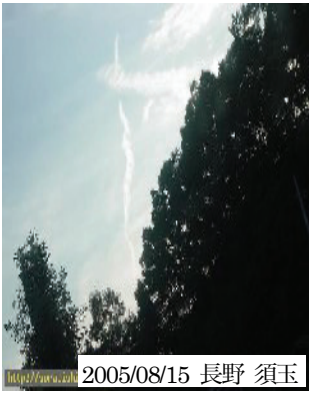
2005/08/07 千葉

【宮城県沖地震の続き】









2005 年 08 月 16 日 宮城県沖 深さ 42km M7.2 震度 6 弱

【地震の前にあらわれた雲　2001 年～2006 年】


2001/12/12 福岡

2001 年 12 月 18 日
与那国島近海 M7.3
2001 年 12 月 18 日
台湾北部 M6.7
2001 年 12 月 24 日
ソロモン諸島 M7.0
2002 年 01 月 03 日
バヌアツ諸島 M7.3

2002 年 06 月 14 日
茨城県南部　深さ 57km
M5.1 震度４
2002 年 06 年 22 日
イラン西部 M6.3
2002 年 06 月 29 日
ウラジオストク M7.0


2002/06/10 福岡


2002/08/24 豊田

2002 年 08 月 25 日
根室半島南東沖
深さ 44km M6.0 震度４
2002 年 08 月 29 日 台湾付近 M5.7
2002 年 09 月 01 日 台湾付近 M6.0
2002 年 09 月 01 日 台湾付近 M5.7


2002/09/06 豊田

2002 年 09 月 08 日 宮城県北部
深さ 8km M3.6 震度４
2002 年 09 月 15 日 与那国島近海
深さ 31km M5.3
2002 年 09 月 15 日
ウラジオストク付近 M6.3

2002 年 09 月 16 日 石垣島北西沖　深さ 157km　M5.9
2002 年 09 月 16 日 鳥取県中部　深さ 10km　M5.5 震度４



2002 年 10 月 02 日 択捉島付近
深さ 119km M5.1
2002 年 10 月 05 日 宮古島北西沖
深さ 23km M5.1





2002 年 10 月 10 日
インドネシア イリアンジャヤ M7.1
2002 年 10 月 12 日 福島県沖　深さ 29km　M5.8 震度 3
2002 年 10 月 14 日 青森県東方沖　深さ 53km　M6.1 震度 5 弱
2002 年 10 月 21 日 茨城県沖　深さ 50km　M5.4 震度 3



2002 年 11 月 02 日
スマトラ島沿岸 M7.5
2002 年 11 月 03 日
宮城県沖 深さ 46km
M6.3 震度 5 弱
2002 年 11 月 04 日
アラスカ中部 M8.5
2002 年 11 月 04 日 日向灘　深さ 35km　M5.9 震度 5 弱



2002 年 11 月 17 日 オホーツク海南部
深さ 496km M7.0 震度 3

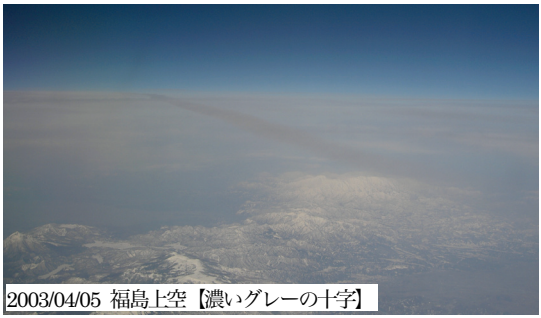


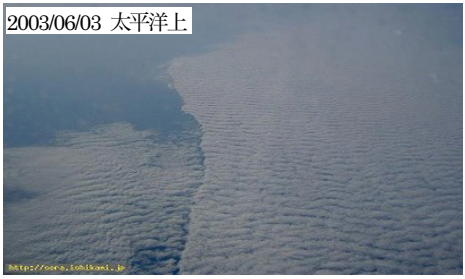
2002 年 12 月 01 日 十勝沖
深さ 103km M5.5 震度 3
2002 年 12 月 05 日 宮城県沖　深さ 40km　M5.3 震度 3



2003年02月12日 三宅島近海
深さ16km M5.1 震度4
2003年02月16日 福島県沖
深さ63km M5.2 震度3
2003年02月19日 留萌支庁中北部
深さ222km M5.9 震度3

2003年04月08日
茨城県沖 深さ24km M6.0
2003年04月17日
青森県東方沖 深さ40km
M5.6 震度4
2003年04月29日
北海道東方沖 深さ18km
M6.0 震度3





2003年06月09日 台湾付近 M6.3
2003年06月10日 台湾付近 M6.3
2003年06月16日 茨城県沖
深さ77km M5.1 震度4
2003年06月23日
アリューシャン列島 ラット諸島
M7.0

2003年07月03日
釧路沖 深さ33km
M5.9 震度3
2003年07月16日
インド洋 深さ10㎞ M7.6
2003年07月26日
宮城県北部 深さ12km
M5.6 震度6弱



2003年07月26日 宮城県中部 深さ12km M6.4 震度6強
2003年07月26日 宮城県北部 深さ13km M5.1 震度5弱
2003年07月26日 宮城県中部 深さ12km M5.5 震度6弱
2003年07月27日 日本海北部 深さ487km M7.1 震度3



2003 年 09 月 27 日 シベリア南西部
深さ 18.4km M7.3

2003 年 09 月 28 日 釧路沖
深さ 49km M5.1 震度３

2003 年 09 月 28 日 奄美大島北西部　深さ 0km　M6.0

2003 年 09 月 28 日 日高支庁東部　深さ 51km　M5.2 震度４

2003 年 10 月 01 日 シベリア南西部　M7.1

2003 年 9 月 25 日 京都府北部
深さ 370km M5.4









2003 年 10 月 11 日 十勝沖
深さ 28km M6.1 震度３



2003 年 10 月 11 日 北海道東方沖　深さ 0km　M5.5

2003 年 10 月 12 日 十勝沖　深さ 48km　M5.5 震度３

2003 年 10 月 15 日 東京湾　深さ 74km　M5.1 震度４

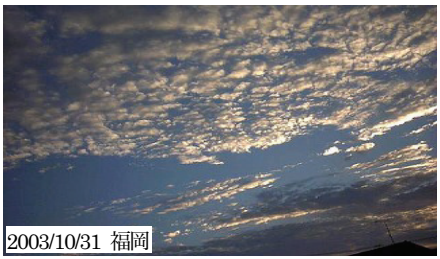
2003 年 10 月 23 日 宮城県中部　深さ 12km　M4.4 震度４


2003/10/25 明石


2003/10/25 天理


2003/10/25 天理


2003/10/26 福岡


2003/10/31 福岡


2003/11/03 福岡

2003 年 10 月 29 日 北海道東方沖
深さ 31 km M6.0 震度 3


2003/10/30 福岡

2003 年 10 月 31 日 宮城県沖
深さ 33km M6.8 震度 4
2003 年 11 月 01 日 福島県沖
深さ 46km M6.2
2003 年 11 月 02 日 三陸沖
深さ 44km M5.6 震度 3
2003 年 11 月 12 日 硫黄島近海
深さ 152km M6.4
2003 年 11 月 12 日 三重県南東沖
深さ 395km M6.5 震度 4
2003 年 11 月 15 日 茨城県沖
深さ 48km M5.8 震度 4



2003 年 11 月 16 日 三陸沖
深さ 15km M5.2
2003 年 11 月 17 日
アリューシャン列島ラット諸島
深さ 20km M7.3





2003 年 11 月 23 日 千葉県東方沖
深さ 39km M5.1 震度4
2003 年 11 月 24 日 日高支庁東部
深さ 52km M5.3 震度4
2003 年 12 月 03 日 釧路沖
深さ 35km M5.6 震度3







2003 年 12 月 10 日 台湾付近　深さ 32km　M6.6



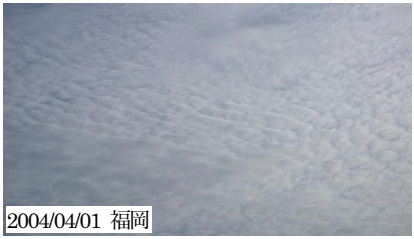


2003 年 12 月 24 日 沖縄本島北西沖　深さ 0km　M6.0
2003 年 12 月 28 日 ローヤリティー諸島付近　M7.1
2003 年 12 月 29 日 釧路沖　深さ 39km　M6.0 震度4





2004 年 01 月 23 日 福島県沖 深さ 66km M5.3 震度４
2004 年 02 月 04 日 岩手県沖 深さ 63km M5.3 震度４



2004 年 04 月 04 日 茨城県沖
深さ 49km M5.8 震度４





2004 年 04 月 12 日 釧路沖
深さ 47km M5.8 震度４
2004 年 04 月 21 日 日向灘
深さ 25km M5.0 震度３
2004 年 04 月 23 日 青森県東方沖　深さ 66km　M4.9 震度４
2004 年 05 月 06 日 釧路沖　深さ 43km　M5.7 震度３





2004 年 05 月 20 日 沖縄本島近海
深さ 45km M5.1 震度４
2004 年 05 月 29 日 福島県沖
深さ 38km M5.9 震度３
2004 年 05 月 30 日 関東東方沖　深さ 23km　M6.7


2004/06/15 奈良

2004年06月20日 八丈島東方沖
深さ65km M5.1 震度3


2004/06/23 帯広


2004/06/27 美唄

2004年07月08日 千島列島 M6.3
2004年07月17日 千葉県南東沖
深さ69km M5.5 震度4

2004年07月20日 十勝支庁南部　深さ98km　M5.0 震度3
2004年07月22日 沖縄本島近海　深さ32km　M6.1 震度3


2004/08/07 摩周湖

2004年08月10日 岩手県沖
深さ48km M5.8 震度5弱
2004年08月19日 福島県沖
深さ73km M5.0 震度4
2004年08月21日 与那国島近海
深さ30km M5.6 震度3


2004/09/11 札幌


2004/09/12 札幌

2004年09月13日 千島列島　M5.8
2004年10月06日 茨城県南部　深さ66km　M5.7 震度5弱


2004/10/24 新潟

2004年10月25日 新潟県中越地方
深さ10km M5.3 震度5弱
2004年10月25日 新潟県中越地方
深さ15km M5.8 震度5強
2004年10月25日 新潟県中越地方
深さ14km M4.9 震度4


2004/10/25 新潟

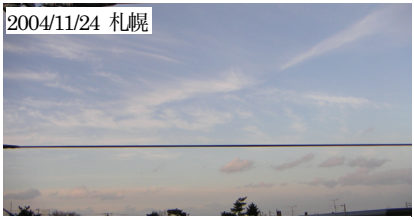

2004/10/25 新潟


2004/10/26 札幌


2004/11/06 東北上空

2004 年 10 月 27 日 新潟県中越地方
深さ 12km M6.1 震度6弱
2004 年 11 月 04 日 新潟県中越地方
深さ 18km M5.2 震度5強
2004 年 11 月 04 日 北海道東方沖
深さ 60km M5.8 震度4
2004 年 11 月 07 日 オホーツク海南部
深さ 507km M6.0
2004 年 11 月 08 日 新潟県中越地方
深さ 0km M5.9 震度5強
2004 年 11 月 09 日 与那国島近海
深さ 34km M6.4 震度4
2004 年 11 月 10 日 新潟県中越地方　深さ 5km　M5.3 震度5弱
2004 年 11 月 11 日 十勝沖　深さ 39km　M6.3 震度4


2004/11/24 長岡


2004/11/24 札幌


2004/11/24 長岡

2004 年 11 月 26 日
インドネシア イリアンジャヤ M7.2
2004 年 11 月 27 日 十勝支庁南部
深さ 51km M5.6 震度4
2004 年 11 月 29 日 釧路沖
深さ 48km M7.1 震度5強
2004 年 11 月 29 日 釧路沖
深さ 46km M6.0 震度4
2004 年 12 月 06 日 釧路沖　深さ 46km　M6.9 震度5強





2004 年 12 月 14 日 留萌支庁南部　深さ 9km　M6.1 震度 5 強

2004 年 12 月 22 日 釧路沖　深さ 45km　M5.7　震度 3

2004 年 12 月 23 日 マッコーリー島　M7.8

2004 年 12 月 26 日 インドネシア スマトラ島北西沖　深さ 10km　M9.3

2004 年 12 月 26 日 インドネシア　ニコバル諸島　M7.4

2004 年 12 月 28 日 新潟県中越地方　深さ 8km　M5.0 震度 5 弱



2005 年 01 月 18 日 釧路沖

深さ 50km　M6.4 震度 5 強

2005 年 01 月 19 日 関東東方沖

深さ 31 ㎞　M6.8





2005 年 01 月 06 日 青森県東方沖

深さ 61km　M5.3 震度 3





2005 年 01 月 31 日 十勝沖

深さ 48km　M5.4 震度 3

2005 年 02 月 10 日 小笠原諸島東方沖

深さ 0km　M6.5

2005 年 02 月 16 日 茨城県南部

深さ 46km　M5.3 震度 5 弱

2005 年 02 月 26 日 青森県東方沖

深さ 45km　M5.7 震度 4





2005 年 04 月 04 日 福島県沖　深さ 44km　M5.3 震度4

2005 年 04 月 11 日 千葉県北東部　深さ 52km　M6.1 震度5強

2005 年 04 月 19 日 鳥島近海　深さ 440km　M6.0

2005 年 04 月 20 日 福岡県北西沖　深さ 14km　M5.8 震度5強



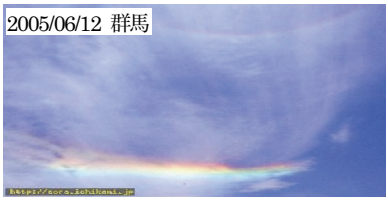
2005 年 05 月 19 日 千葉県東方沖
深さ 33km M5.4 震度3



2005 年 05 月 21 日 宮城県沖
深さ 18km M5.1 震度3

2005 年 05 月 31 日 大隅半島東方沖　深さ 29km　M5.8 震度4

2005 年 06 月 03 日 熊本県天草・芦北地方　深さ 11km　M4.8 震度5弱



2005 年 06 月 14 日 南米チリ北部 M7.4

2005 年 06 月 15 日 カリフォルニア沖 M7.4



2005 年 06 月 20 日 千葉県北東部
深さ 51km M5.6 震度4

2005 年 06 月 20 日 新潟県中越地方深さ 15km M5.0 震度5弱



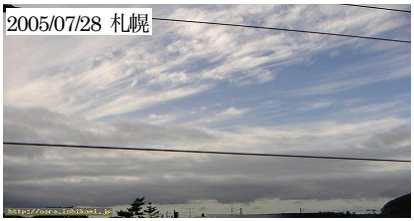


2005 年 07 月 02 日 三陸沖　深さ 40km　M5.5 震度3

2005 年 07 月 10 日 八丈島東方沖　深さ 55km　M5.8 震度3

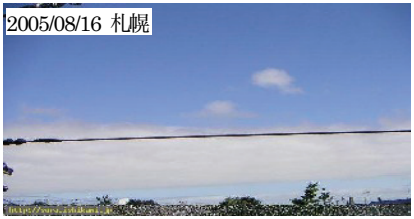


2005 年 07 月 23 日 千葉県北西部
深さ 73km M6.0 震度 5 強
2005 年 07 月 25 日 インドネシア
ニコバル諸島沖 M7.4
2005 年 07 月 28 日 茨城県南部
深さ 51km M5.0 震度 4



2005 年 08 月 07 日千葉県北西部
深さ 73km M4.7 震度 4
2005 年 08 月 08 日 茨城県沖
深さ 46km M5.5 震度 3





2005 年 08 月 21 日 新潟県中越地方
深さ 17km M5.0 震度 5 強

2005 年 08 月 24 日 三陸沖 深さ 14km M6.3 震度 3



2005 年 08 月 31 日 三陸沖
深さ 22km M6.3 震度 3





2005 年 09 月 21 日 国後島付近
深さ 103km M6.0 震度 4

2005 年 09 月 26 日 南米西部 M7.5
2005 年 10 月 08 日 パキスタン M7.8









2005 年 10 月 15 日 千島列島東方
深さ 30km M6.4

2005 年 10 月 16 日 石垣島北西沖
深さ 175km M6.5 震度3

2005 年 10 月 16 日 茨城県南部
深さ 47km M5.1 震度4

2005 年 10 月 18 日 青森県西方沖
深さ 14km M5.3 震度3

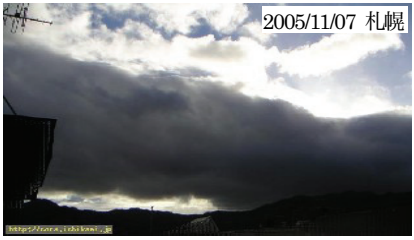
2005 年 10 月 19 日 茨城県沖
深さ 48km M6.3 震度5弱



2005 年 10 月 22 日 福島県沖
深さ 52km M5.6 震度4

2005 年 10 月 23 日 日本海中部 深さ 411km M6.1









2005 年 11 月 15 日 三陸沖 深さ 45km M7.2 震度3

2005 年 11 月 16 日 伊豆諸島北部 深さ 10km M6.1



2005 年 11 月 22 日 種子島近海
深さ 146km M6.0 震度3







2005 年 12 月 02 日 宮城県沖
深さ 40km M6.6 震度3

2005 年 12 月 04 日 奄美大島北東沖　深さ 69km　M6.1 震度3

2005 年 12 月 04 日 奄美大島北東沖　深さ 67km　M5.3 震度3

2005 年 12 月 05 日 宮城県沖　深さ 25km　M5.5 震度3





2005 年 12 月 11 日 ニューギニア付近
M7.0

2005 年 12 月 13 日 北海道南西沖
深さ 29km M5.5 震度3





2005 年 12 月 17 日 宮城県沖
深さ 40km M6.1 震度4







2005 年 12 月 20 日 伊勢湾
深さ 366km M5.1



2005 年 12 月 21 日 三陸沖
深さ 44km M5.1



2005 年 12 月 24 日 愛知県西部　深さ 43km　M4.8 震度4

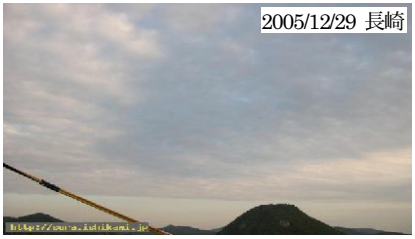




2005 年 12 月 26 日 父島近海
深さ 20km M5.3





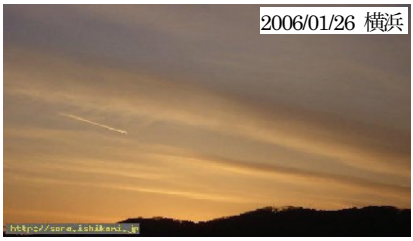


2005 年 12 月 28 日 茨城県南部
深さ 53km M4.8 震度4

2006 年 01 月 02 日 南極付近　M7.5
2006 年 01 月 03 日 南太平洋　M7.0
2006 年 01 月 04 日 北米西部　M7.0













2006年01月08日 地中海　M7.0

2006年01月18日 福島県沖

深さ36km　M5.7 震度3



2006年01月28日 インドネシア付近

M7.7

2006年02月01日 千葉県北西部

深さ101km M5.1 震度4

2006年02月03日 茨城県沖

深さ62km M5.9 震度3

2006年02月04日 天草灘

深さ12km M5.1 震度4



2006年02月16日 岐阜県美濃中西部

深さ14km M4.4 震度4

2006年02月17日 硫黄島近海　深さ196km　M6.0

2006年02月18日 岐阜県美濃中西部　深さ13km　M4.1 震度4





2006 年 02 月 23 日 アフリカ東部 M7.2





2006 年 02 月 28 日
アフリカ モザンビーク M7.5





2006 年 03 月 05 日 三重県南東沖
深さ 353km M5.3

2006 年 03 月 12 日 岩手県沖
深さ 35km M5.0 震度3



2006 年 03 月 27 日 日向灘 深さ 35km M5.5 震度5弱

2006 年 03 月 28 日 鳥島近海 深さ 439km M6.0 震度3

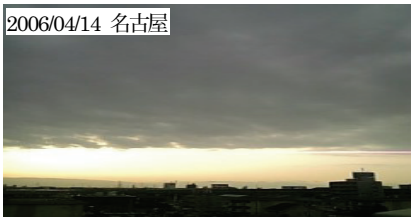




2006 年 04 月 10 日 根室支庁北部 深さ 120km M5.1 震度3

2006 年 04 月 11 日 千葉県南東沖 深さ 66km M5.0 震度3

2006 年 04 月 13 日 浦河沖 深さ 43km M5.3 震度4



2006 年 04 月 21 日 伊豆半島東方沖
深さ 7km M5.8 震度4
2006 年 04 月 21 日 シベリア M7.7



2006 年 04 月 22 日 伊豆半島東方沖
深さ 1km M4.8 震度3
2006 年 04 月 22 日 宮城県沖
深さ 66km M4.6 震度4





2006 年 05 月 12 日 根室半島南東沖 深さ 56km M5.0 震度3
2006 年 05 月 15 日 和歌山県北部 深さ 3km M4.5 震度4

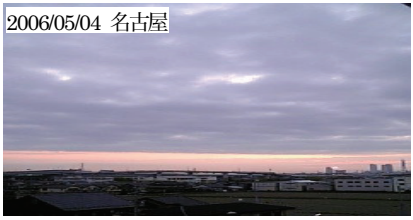
2006 年 04 月 16 日 台湾付近
深さ 75km M6.0
2006 年 04 月 16 日 鳥島近海
深さ 454km M5.7







2006 年 04 月 30 日 伊豆半島東方沖
深さ 6km M4.5 震度5弱
2006 年 05 月 02 日 伊豆半島東方沖
深さ 15km M5.1 震度4





2006 年 05 月 20 日 千葉県南部
深さ 74 km M4.7 震度3





2006 年 06 月 03 日 福井県嶺南
深さ 7km M4.1 震度3



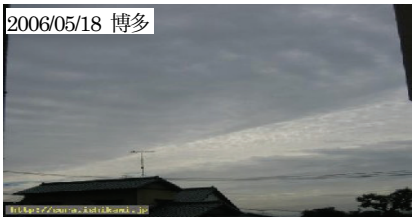
2006 年 06 月 12 日 大分県西部
深さ 145km M6.2 震度5弱

2006 年 06 月 13 日 十勝支庁中部　深さ 86km　M4.7 震度4

2006 年 06 月 17 日 オホーツク海南部　深さ 390km　M5.6

2006 年 06 月 17 日 三陸沖　深さ 11km　M5.7

2006 年 05 月 16 日
ニュージーランド付近 M7.4





2006 年 05 月 28 日 伊予灘
深さ 80km　M4.3　震度3







2006年06月20日 千葉県北西部
深さ 66km M4.6 震度3

2006年06月22日 択捉島南東沖
深さ 111km M5.8





2006年06月27日 西表島付近　深さ 53km　M4.6 震度3

2006年06月28日 千葉県北西部　深さ 112km　M4.1 震度3





2006年07月01日 宮城県沖
深さ 40km　M5.3 震度3





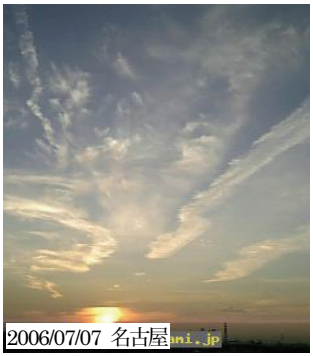




2006年07月06日 岩手県沖
深さ 36km M5.4 震度3

2006年07月06日 宮城県中部　深さ 11km　M4.3 震度4

2006年07月06日 茨城県南部　深さ 50km　M4.0 震度3



2006年07月09日
東京湾 深さ24km M4.2 震度3
2006年07月09日
新島・神津島近海　深さ11km M4.8 震度4
2006年07月11日
山口県西部　深さ16km M4.0 震度3
2006年07月17日
十勝支庁中部　深さ86km M4.0 震度3
2006月07月17日 ジャワ M7.1・M6.1・M6.0











2006年07月28日 与那国島近海
深さ40km M6.2 震度3
2006年07月30日 茨城県南部
深さ52km M3.9 震度3
2006年08月01日 茨城県沖
深さ48km M4.3 震度3
2006年08月05日 富山湾
深さ6km M3.7 震度3
2006年08月07日 小笠原諸島東方沖
深さ24km M6.2
2006年08月08日
南太平洋バヌアツ付近
深さ170km M7.0



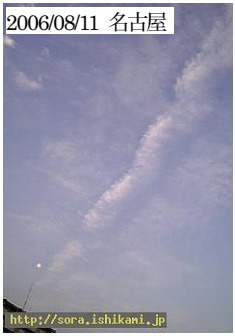








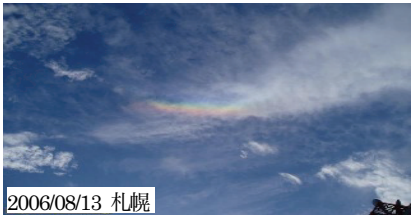






2006 年 08 月 13 日
奄美大島近海
深さ 56km M5.3 震度3





2006 年 08 月 17 日 宮城県北部　深さ 75km　M4.3 震度3
2006 年 08 月 18 日 サハリン西方沖　深さ 48km　M5.9 震度3



2006 年 08 月 20 日 南極付近 M7.2
2006 年 08 月 22 日 和歌山県南部
深さ 410km M5.1
2006 年 08 月 25 日 愛知県西部
深さ 43km M3.9 震度3







2006 年 08 月 31 日 国後島付近
深さ 105km M4.9 震度3

2006 年 08 月 31 日 東京湾
深さ 76km M4.8 震度4

2006 年 09 月 01 日 奄美大島近海
深さ 55km M5.4 震度3









2006 年 09 月 07 日 千葉県東方沖　深さ 38km M5.1 震度3

2006 年 09 月 07 日 千葉県北西部 深さ 69km M4.6 震度3

2006 年 09 月 09 日 宮城県沖 深さ 67km M4.9 震度3





2006 年 09 月 13 日 オホーツク海南部
深さ 380km M5.3

2006 年 09 月 14 日 トカラ列島近海　深さ 108km M4.6 震度3

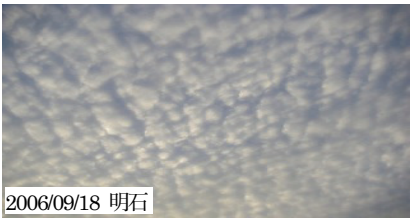




2006 年 09 月 16 日
日本海中部　深さ 408km　M5.8



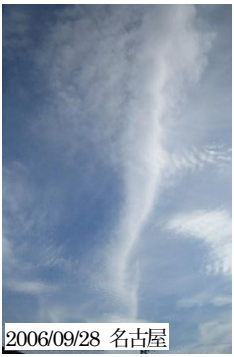








2006 年 09 月 23 日 宮古島近海
深さ 10km M4.4 震度３
2006 年 09 月 24 日 新島・神津島近海
深さ 10km M3.1 震度３
2006 年 09 月 26 日 伊予灘　深さ 70km　M5.3 震度４







2006 年 09 月 30 日
根室支庁南部 深さ 74km
M4.6 震度３





2006 年 10 月 11 日 福島県沖
深さ 50km M6.0 震度３



2006 年 10 月 12 日 与那国島近海
深さ 46km M6.2





2006 年 10 月 1 日 千島列島 M6.3
2006 年 10 月 1 日 千島列島 M6.2



2006 年 10 月 02 日 三陸沖
深さ 56km M5.2 震度３











2006 年 10 月 13 日 千島列島 M6.3
2006 年 10 月 14 日 千葉県南東沖
深さ 64km M5.1 震度４
2006 年 10 月 14 日 福島県沖 深さ 51km M4.7 震度３





2006 年 10 月 16 日 ハワイ M6.7・M6.0





2006 年 10 月 18 日 福島県沖　深さ 44km　M5.0

2006 年 10 月 24 日 鳥島近海　深さ 3km　M6.8





2006 年 10 月 26 日 宮古島近海
深さ 50km　M4.5 震度3



2006 年 11 月 01 日 十勝支庁南部
深さ 50km　M4.3 震度3



2006 年 11 月 01 日 十勝支庁南部　深さ 49km　M4.8 震度4





2006 年 11 月 03 日 大阪府北部 深さ 8 km M3.7 震度4

2006 年 11 月 06 日 岩手県沖　深さ 41km　M4.4 震度3









2006 年 11 月 12 日 伊豆半島東方沖
深さ 20km M3.6 震度３







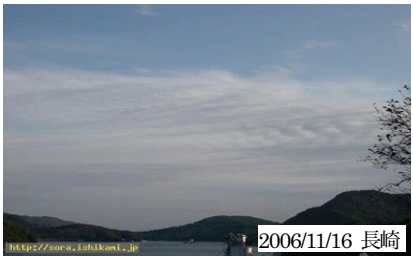




2006 年 11 月 15 日
茨城県北部 深さ 58km
M3.9 震度３



2006 年 11 月 15 日 千島列島 深さ 28km M8.3
2006 年 11 月 15 日 千島列島東方 深さ 40km M.6.0
2006 年 11 月 15 日 千島列島東方 深さ 10km M6.2
2006 年 11 月 15 日 千島列島東方 深さ 10 km M6.5
2006 年 11 月 15 日 千島列島東方 深さ 23km M6.3
2006 年 11 月 16 日 千島列島 深さ 22km M6.2
2006 年 11 月 16 日 千島列島東方 深さ 18km M6.1





2006 年 11 月 17 日 三重県南東沖

深さ 376km M5.5









2006 年 11 月 18 日 奄美大島近海

深さ 30km M6.0 震度4





2006 年 11 月 19 日 愛媛県南予

深さ 41km M4.2 震度3



2006 年 11 月 20 日 東太平洋

深さ 10km M6.0

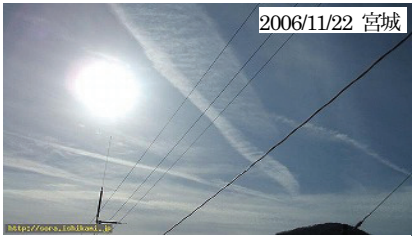








2006 年 11 月 22 日 北海道東方沖　深さ 96km M5.6 震度４





2006 年 11 月 24 日 伊豆半島東方沖
深さ 7km M4.3 震度３



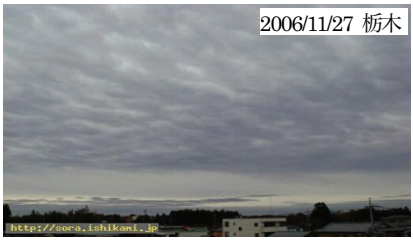


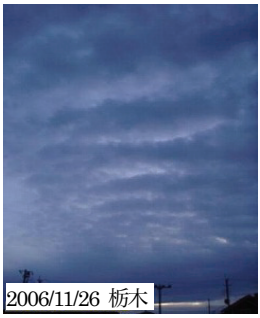




2006 年 11 月 26 日 島根県東部
深さ 9km　M3.5 震度３











2006 年 11 月 29 日 インドネシア ハルマヘラ M6.1





2006 年 11 月 30 日 トンガ M6.0

2006 年 12 月 01 日 南極付近 M6.2

2006 年 12 月 01 日 インドネシア スマトラ北部 M6.3

2006 年 12 月 01 日 インドネシア スンバワ付近 M6.3

2006 年 12 月 04 日 千葉県北東部 深さ 49km M4.5 震度３





2006 年 12 月 06 日 釧路沖 深さ 30km M5.0 震度３







2006 年 12 月 08 日 千島列島
深さ 10km M6.2
2006 年 12 月 09 日 オホーツク海南部
深さ 438km M5.9









2006 年 12 月 11 日 奄美大島北東沖
深さ 54km M5.7 震度3





2006 年 12 月 13 日 沖縄本島北西沖　深さ 6km　M5.2
2006 年 12 月 16 日 静岡県中部　深さ 21km　M4.0 震度3
2006 年 12 月 19 日 愛知県西部　深さ 15km　M4.4 震度3













2006 年 12 月 26 日 佐渡付近　深さ 14km　M4.9 震度4

2006 年 12 月 26 日 台湾付近　深さ 80km　M6.9

2006 年 12 月 26 日 台湾付近　深さ 40km　M7.2







2006 年 12 月 28 日 宮城県沖
深さ 71km M4.4 震度3

2006 年 12 月 31 日 新島・神津島近海
深さ 12km M4.3 震度3

2006 年 12 月 31 日 新島・神津島近海
深さ 12km M4.7 震度4

2006 年 12 月 31 日 新島・神津島近海　深さ 14km　M4.3 震度3

2006 年 12 月 31 日 根室半島南東沖　深さ 46km　M5.0 震度4

2006 年 12 月 31 日 千葉県南東沖　深さ 43km　M4.9 震度3

【原子とニウの物語】

青空には何もないように見えますが、人間には決して見えない、原子よりさらに小さなモノ＝ニウたちが充満しており、彼らは思いを持って地球を見ているそうです。

宇宙の初めは、宇宙の大元が一人だけでさみしく思っていました。それで相手をしてくれるモノをつかもうとする〝思い〟が最初に生まれました。また反対につかまれまいとして逃げようという〝思い〟もあらわれました。その〝思い〟が追いかけっこをすることで渦巻きがあらわれ、それが極限まで凝縮して、パンとはじけて原子が生まれました。そして同じ思いを持つ原子同士が集まって星が誕生しました。けれども原子の塊である星の中では自由にならないので、そこから外に出ようという思いを持つモノがあらわれました。それをニウと呼びます。原子よりはるかに小さいニウも〝思い〟を持っていますが、あまりに小さすぎて人間は最近までニウたちを見つけることは出来ませんでした。原子は原子核の周りを電子が回って成り立ち、原子がさらに集まることで物質になることが出来ますが、思いを持っているだけのニウは、たくさん集まっただけでは物質にはなれません。

地球の始まりは真っ赤な火の玉の星でしたが、宇宙の大元は地球を〝形をあらわすことのできる希望の星〟にしようと計画を立てました。その計画に賛同した射手座にいた〝思いを持つモノたち〟が、地球を冷やし固めようと集団でやって来て、その〝思いを持つモノたち〟は地球の周りで原子になり、さらに長方形の棒のような形で地球に降りて来ました。そして地球に到着すると、粉をこねたような大きな塊になり、それから薄く伸びて膜のようになり地球を覆い包みました。次にやってきた原子たちは、今度はバナナやクラゲのような形で降りてきて、山や丘になりました。そしてその一部の原子たちが生物の元になりました。それらは星からの指令で、いろいろな形の生物や人間になりました。それ以後、最初に降りてきて地球を覆い地下に潜ってしまった原子や、その原子から飛び出したニウたちと、後で降りてきて山になった原子や、そこから飛び出したニウたちは、お互いに絶えず会話をしていました。すなわち原子たちは、原子から飛び出した子供のニウたちを

連絡役にして、お互い交信をしているのです。そして地球を覆った原子たちと山になった原子たちは、水蒸気になって昇っていく原子やニウたちに自分たちの思いを伝えることで、ソラにいる原子やニウたちにその思いを伝えていきます。山の原子たちの思いを知ったソラの原子たちは、自分の思いと同じ思いを持つ水蒸気の中の原子たちに呼びかけて一緒になり、それがたくさん集まって水滴となり目に見える形の雲になります。こうして地球を覆った原子や山になった原子の思いは、いろいろな形の雲としてソラに浮かんでいるのです。

一方で宇宙から来て生物になり、星たちの指導で人間の形になった原子たちは、星の意識（潜在意識）を持っているので、地球を生物の住む星にしてくれた原子たちのことを人間の顕在意識に知らせようと思います。なぜかというと、ほとんどの人たちの顕在意識は、全ての物は自然に出来ていると思い、地球も食べ物も全て〝思いを持つ〟原子から出来ていることに気付かずに、違うものを崇め信じているからです。違うものとはあらゆる宗教であり、そこで崇めている神と言われるもので、それらを崇める思いが強いと、肉体を創っている原子たちがＳＯＳを発します。そしてＳＯＳを発した人が大勢集まると、原子から指令を受けたニウたちは連絡し合って、大きなＳＯＳを思いの塊として宇宙へ発信します。ソラや地球に充満している原子たちがそのＳＯＳに気付き行動を起こすので、いろいろな災害になるのです。災害は人間の思いが呼び寄せているソラ（宇宙）からのお知らせなのです。

原子たちの思いを形にあらわしているもののひとつがいろいろな形の雲です。変わった形の雲は、原子たちの意見が一致して〝ここに思いを持ったものがいる〟と知らせたり、原子が思いを持っていることに気付かない人間に対して抗議をしたりするために集まって出来ます。このように変わった形の雲を作り〝原子たちに意識を向けて欲しい〟と思って地震で知らせているようです。小さな地震は〝ここにいるものも思いを持っていますよ〟とも知らせます。巨大地震が起きる時は〝人間の進んでいる道が間違っている〟と知らせていると思うことも大切です。

写真で紹介したような雲があらわれると〝これから地震を起すよ〟という合図で、しばらくすると地震が起こるようです。地震の記録計にはあらわれても、海の沖や遠くで起きる場合は体感では分からなく気付かない場合が多いですが、このように変わった形の雲と地震の記録とをまとめてみると、その関係が良く分かります。

【変わった形の地震】

《巾着袋地震》

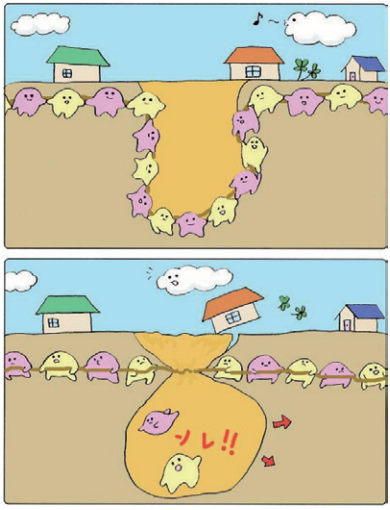
これは震源地では震度が観測されず遠隔地で観測される地震です。

２００５年１２月　伊勢湾　Ｍ５・１　震度１　福島県など

２００６年９月　日本海中部　Ｍ５・８　震度２　北海道（太平洋側）

２００６年１１月　三重県南東沖　Ｍ５・１　震度２　福島県など

このような現象が起きるのは、地震はプレートがずれて起きるのではないということを知らせるために、地球を覆う膜になった原子たちが、巾着袋と同じ原理で深い所（深さ３００から４００㎞）で紐を締めるからです。なぜこのように巾着袋のようなモノが出来たかというと、地球を原子の膜で覆う時、地球の表面より膜が大きくなりすぎて、その余った部分が袋になったからです。袋の底になった部分の原子たちが、地震はプレートのずれで起きるのではないことを知らせるために動くので、震源地から遠く離れた巾着袋の入り口のヒダの部分の地域で地震が起きるのです。



イラスト：ソエタ マユ

《ゆっくり地震と双子地震》

最近話題になっているゆっくり地震とは、通常なら大きな地震を発生させる地下の岩盤のずれが、長期間に渡ってじわりじわりと進行するもので、体に感じるような揺れは発生しません。房総半島は、プレート理論では北西方向に年間約２センチ移動しているとされていますが、観測衛星では反対の南東方向に１～２㎝移動していたことが分かったそうです。そのゆっくり地震が一瞬で起きれば、マグニチュード６・５の地震に相当するエネルギーがあるそうです。前述のゆっくり地震ではプレート理論と反対方向に陸の移動が起きているそうですし、和歌山沖の双子地震（２００４年９月５日　紀伊半島沖Ｍ７・１、同５日　三重県南東沖　Ｍ７・４）もプレート理論では説明出来ないそうです。プレート境界から離れた大陸地殻

内や海洋プレート内でもまれに地震が発生するのも発生原因は分かっていないようです。ゆっくり地震が増えているのは、人間が大変な被害を受けることを知った地球を覆う原子たちが、少しずつ動いて人間が被害を受けないようにしてくれているからと思うことも大切だと思います。

【地震の前の身体の変化】

大きな地震が続いた頃から、地震の前に身体の異常を訴える方が増えたようです。地震の前の体感とは、突然耳鳴りや耳が詰まったような感じや、身体の一部にカユミや痛みなどがあらわれ、時にはモールス信号のように知らせることもあります。それが長く続く場合は病気も考えられますが、ニウたちが知らせようと細胞の原子に刺激を送るために感じるようです。

【巨大地震と巨大津波】

人間の肉体を創っている原子たちの思いが潜在意識です。その人間の潜在意識が宗教などによって自分たちの嫌なものに支配されると宇宙に助けを求めます。その助けを求める思いが巨大になると、それに応じて巨大なガスの彗星が地球に突っ込みます。地球は原子たちが手をつないで膜で覆っていますが、それに彗星が突っ込むと膜に穴がきます。そうすると地球はゴムまりの空気が抜けたようになり大変なことになるので、膜を作っている原子たちは急いでその穴を補修しようとし、隆起するので巨大地震が起きるそうです。（地球がゴムまりというのもソラからの情報）その後も何度も地震が起きるのは、彗星の衝突の衝撃で原子たちのつないでいた手が離れたので、元に戻ろうと動くために何度もゆれるのです。巨大津波は、巨大なガスの彗星が地球に衝突すると、海水で衝撃は和らげられるものの、海面に巨大な穴を開けるので、そこに周りの海水が流れ込み巨大な渦巻きが発生します。実際、渦に巻き込まれた人は、巨大な洗濯機の中に放り込まれたようだと感想を述べていますし、人工衛星から見た写真では、大きな渦巻きが写されています。（裏表紙参照）

【自然現象のソラの解釈】

《台風》は次のようにして発生するそうです。暑い地域ではあまりに暑いので、水を構成している原子はソラに戻ろうとして多く蒸発します。それでその原子たちは帯状に集まりながら上がって行きますが、それと同時にその原子たちは海をきれいにするため掃除をしようとして〝追いかけっこ〟を始めます。追いかけっこをすることで渦巻きが出来、それが大きな波になり、その大きな波が海の掃除をします。海上では水の原子たちが次々と集まって追いかけっこを続けるので、原子の渦巻きは次々とソラへ上り、それがどんどん分厚い雲の渦巻きになり台風が育っていきます。

《稲妻》は、同じ思いのたくさんの原子たちがソラから一斉にかけ降りてくることで、電気となって降りてきます。

《竜巻》は、稲妻となってソラから降りてきた原子たちが、地上で集まって人間などを発生させたことを知らせるために起こります。すなわち竜巻は、原子が集まって出来た物質を巻き上げてバラバラにしているのです。

《いろいろな雲》のうち〝ぽっかり〟と浮かんでいるのは、同じ思いを持った水を構成する原子たちが集まり、望み通りの形になって漂っているのです。また地球を固めた原子たちは長方形やバナナ型、クラゲ型で地球に降りてきたので、その形を真似ているのもあります。凸凹の雲で寝転んだ顔に似ているのは、雲の中の原子たちも人間と同じ思いを持っていることをあらわすためです。小さな塊が集まってソラ全体に広がる〝ウロコ雲〟は、原子たちは極々小さくて肉眼では見えないけれど、集団になると形をあらわすことが出来、それがソラから見ているということをあらわします。刷毛で掃いたような〝刷毛雲〟は、上層にいる原子たちの思いをあらわし、地上の争いなどをあまり知らないので、穏やかな感じの雲になります。巨大な綿あめのような〝入道雲〟は、地上の熱のためにたくさんの水の原子が一斉に上昇し、いろいろな形で意志表示をしますが、分厚いものはより強い思いを形にあらわします。地球に最初に降りてきたモノが雪だるまのような形をしていたので、それに似た形をあらわしています。

《雪の結晶》は多くが6角形ですが、二つとして同じ形はありません。それは水の分子もそれぞれの思いを形にあらわすからで、人間の肉体は手足と身体で5つ、さらに見えない潜在意識もあるので、そのことを6角形で知らせているのです。

【おわりに】

【はじめに】で書きましたように、地震の前に変わった形の雲が出ているということと、地震がなぜ起きるかということに対して、このような情報もあるということを知っていただきたいと願ってこの写真集を出版しました。私は8年前からチャネリングにより、地球、雲、山などにも思いがあり、それらが一生懸命思いを伝えているということを知らされてきました。ここに紹介した内容は、これまで知らされた情報のごく一部を簡単にまとめたものです。それだけに読者の方には分かりにくいことが多々あると思いますし、直接知らされる私もまだまだ分からないことはたくさんあります。しかし異論はあるかと思いますが、ゆっくり地震などの意味も含めて、この雲の写真集で少しはソラからの情報の補足が出来たのではないかと思っています。大きな地震が続いたことで、より多くの方が雲に意識を向けるようになり、変わった形の雲の画像が多く報告されていますが、地震が沖合いなどで起きて２００５年までに比べて被害が少なく済んでいると思えます。気象データ以外の情報は巻末の弊社出版本などご参照願い、このように宇宙には人間以外にも意識を持った存在が多数いる、という情報もあることに目を向けていただけたら幸いと存じます。この情報を理解して下さる読者の方は「地震が怖くなくなった」「雲は何を知らせているのだろうという思いを持つようになった」と言って下さいます。こういう情報を知って雲などを見て毎日を過ごすことはとても新鮮な気持ちですし、地球という水の星で人間という奇跡に近い肉体を持った意味を知って、生きることが出来ることに感謝して生きていきたいと思っています。

末筆になりましたが、読者のソラ仲間さんたちと新潟のＥさんに画像を提供していただいたお陰でこの本が出来ましたことにお礼を申し上げます。画像は皆様の了解を得て公開させていただきました。本来ならば全員のお名前をご紹介しなければならないところ、紙面の都合上省略させていただきましたことをお詫びいたします。

地震と雲　地震の前にあらわれる変わった形の雲の写真集

二〇〇七年四月十六日　初版第一刷発行

著者　白木 妙子（合資会社ソラと星出版）

発行所

発売元

本書の内容の一部または全部を無断で複写複製（コピー）することは、
法律で定められた場合を除き、著作者および出版社の権利の侵害となります。

© TAEKO SIRAKI ２００７,Printed in Japan

ソラの人間誕生記

白木妙子著／S・フミヒロ編集

人間は最初にストーンサークルや石室などで創られました。宇宙（ソラ）のものより。
宇宙の成り立ちについての説明や、人類発生の理由とその過程について、それらが有史以前の遺跡や製作者の分からない多くの石像と関係していることを解き明かします。

ソラからの真実の歴史

白木妙子著／S・フミヒロ編集

ソラのものやイシカミたち、過去人間だった意識が語る宇宙、地球、世界、日本の隠された真実の歴史です。宇宙や地球の成り立ち、イシカミについて、ヤマタイコク、出雲と倭の国、ヤマト、明治維新までの隠された真実について解き明かします。

友達物語２

白木妙子著

ソラのものはイスラムの教えが復讐の教えでないことを伝えています。アラビア語（一部日本語）の本です。8ページの小冊子です。パレスチナ、レバノン、イラク、イランなどに送られています。

友達物語

シロキカヨコ著

日本語・英語併記です。2ページで分かるイシカミの物語、イシカミが伝えたかったこと、エジプト太陽の船の秘密、太古のユダヤの人とパレスチナの人の関係、イスラムの教えの本当の意味、人間が創られた意味などが分かります。

地球物語

S.フミヒロ／シロキカヨコ共著

大昔に空からひらりひらりと、まるでクラゲのようにとても柔らかな、山のように巨大で、それでいて意識のあるモノが地球に降りてきました。そのことを知らせる証拠のさまざまな岩や岩絵を集めました。

ソラからの伝言

シロキカヨコ著／ソラプロジェクト編

青い空に白く浮かぶ "雲 "。たまにはのんびりと空を眺めてみませんか？
雲ははるか遠くの私たち "ソラのもの "が、一生懸命心をこめて空に絵を描いているのです。なかなかうまく描けませんが、最近の雲は以前に比べて変わってきたと思いませんか？それはソラのものの思いが、言葉として伝えることができるようになったからです。
いろいろな「なぜ」に答えます。

ホシ物語

シロキカヨコ／イトウキミ共著

星からのメッセージを主婦２人がわかりやすく童話風の本にまとめました。

星からのメッセージ第２集

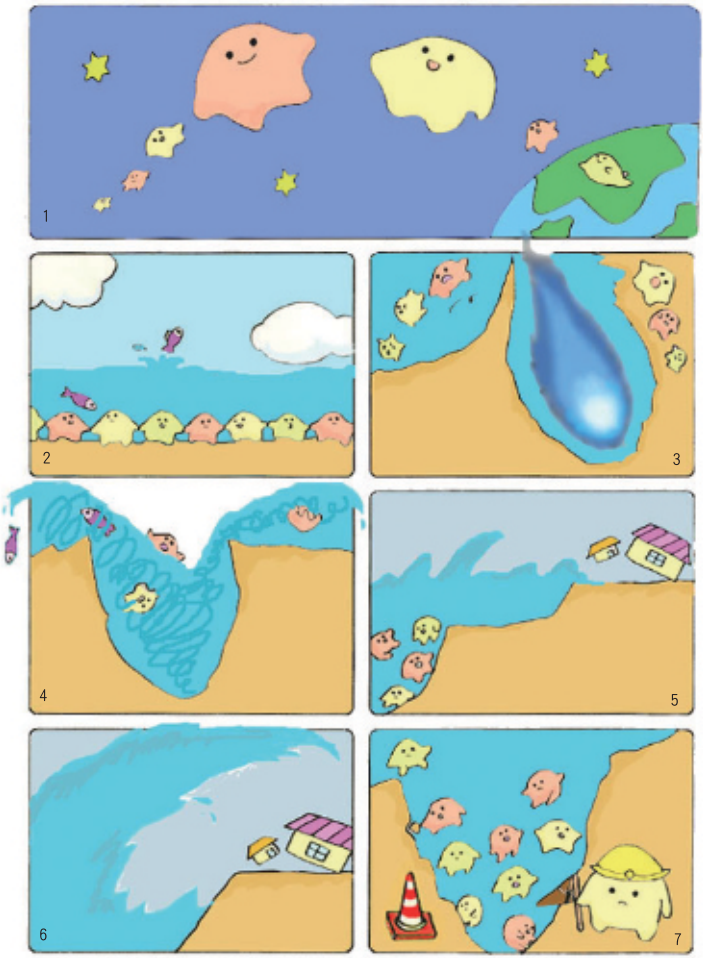
シロキカヨコ著

最初の本「星からのメッセージ」出版後に次々と知らされる情報をまとめました。2000年に伝えられた情報を日記形式でまとめています。

星からのメッセージ

シロキカヨコ著

1999年に空の意識体から伝えられた情報を日記形式でまとめています。地球の謎を解き明かします



イラスト：ソエタ　マユ